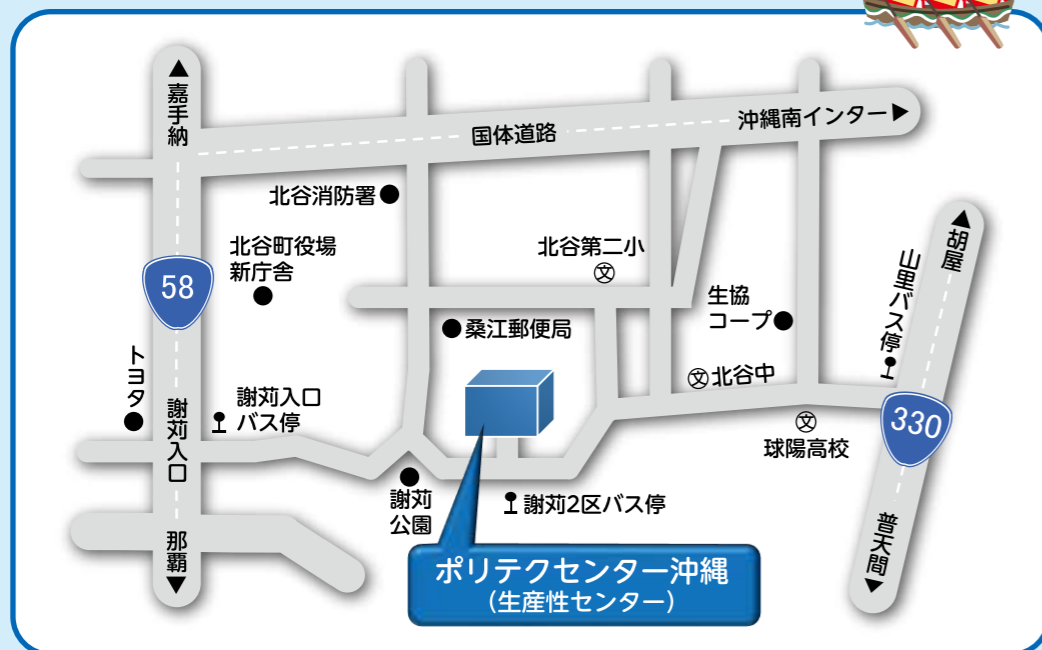


生産性向上のための従業員の人材育成をお手伝いします！

生産性向上支援訓練のご案内

《アクセス》



《お問い合わせ》

ポリテクセンター沖縄

(生産性向上人材育成支援センター)

〒904-0105 沖縄県中頭郡北谷町字吉原728-6

E-mail: okinawa-seisan@jeed.or.jp

TEL:098-921-7315/FAX:098-936-5738

可能性がひろがる職場へ

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、企業の皆様が事業展開を図っていくためには、従業員を育成することにより、企業が生み出す付加価値(労働生産性)を高めていくことが必要となっています。

生産性向上人材育成支援センターは従業員に対する多様な職業訓練の実施などを通じて、企業の皆様の生産性向上を支援します。



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

沖縄支部 沖縄職業能力開発促進センター

生産性向上人材育成支援センター

ポリテクセンター沖縄



従業員の人材育成をお考えの事業主のみなさまへ!

生産性向上支援訓練コース一覧

モデル番号

生産性向上支援訓練とは



企業や事業取組団体の業務効率化を目指して生産性を向上させるための職業訓練です。全国のポリテクセンター（生産性センター）において、中小企業等で働く人々を対象に必要な知識などを習得するため、専門的な知見やノウハウを持つ民間機関等に委託し、**企業・団体の課題やニーズにあわせて実施します。**



生産性向上支援訓練のポイント!

① 訓練を受講して生産性アップ!

生産性向上のために必要な課題解決や現場力強化につながる様々なカリキュラムをご用意しています。カリキュラムは、課題・ニーズにあわせて内容を**カスタマイズ**できます。

② オーダーメイドで訓練を実施!

日程や訓練会場などのご要望にあわせて、生産性センターが訓練を**コーディネート**します。訓練時間は6~30時間の範囲内で、ご要望にあわせて設定できます。

③ 受講しやすい料金

受講料は1人当たり**3,000円~6,000円**（税別）。さらに、生産性向上支援訓練を従業員に受講させた事業主は、**人材開発支援助成金**を利用して経費及び賃金の助成を受けることができます。
※ 助成金の受給には、一定の要件（訓練対象者の職務と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であること等）を満たす必要があります。

ご利用までの流れ

ご連絡

まずは、**生産性センターへご相談ください。**
その後、打ち合わせに向けた日程調整等を行います。

プラン作成に向けた相談

相談は企業訪問等により行います。
人材育成に関するヒアリング、課題や方策の整理等

コースのコーディネート

企業の抱える課題やニーズに応じた訓練コースをご提案します。

受講申込 → 訓練受講

期限内に受講申込書を提出し、受講料をお支払いの上、訓練を受講してください。

※ 期限内に受講料の支払いがない場合は訓練を受講することができません。

よくあるご質問

Q 受講料はいくらですか?

A 受講料は1人あたり、(6~11時間)コースで3,300円、(12~18時間)コースで5,500円、(19~30時間)コースで6,600円(税込み)となります。

Q 個人受講(事業主からの指示を受けない受講)は可能ですか?

A 個人受講はできません。**事業主からの指示を受けた在職者の方に限ります。**

Q 受講料はどのように支払いますか?

A 受講申込書を受け付けた後、振込先口座をご案内しますので、所定の期日までに受講料をお振り込みください。(振込手数料はご負担ください)

複数コースのセット受講も可能です!

複数のコースを組み合わせることで、内容に関する理解を更に深めることができます。

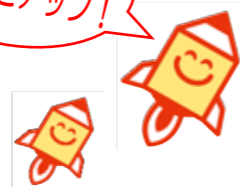
「**生産性向上支援訓練**」と「**IT活用力セミナー**」を組み合わせた訓練設定も可能です。

まずは試しに1~2名の従業員に訓練を受けさせたい!!といった場合には・・・

広く受講者を募集して実施する**公開型の訓練(オープンコース)**も実施しています。

他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

訓練を利用して
生産性をアップ!



オススメです!



目的:生産・業務プロセスの改善			モデル番号
生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での業務改善の考え方を習得する。	048
	生産方式の理解と向上	生産方式を理解し、生産性向上のための現状分析と改善活動ができる知識、技能を習得する。	001
	生産現場の問題解決	生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。	002
工程管理	生産性向上のための課題とラインバランス	生産システムの課題点を把握し改善・検証する手法を習得する。	003
	生産計画と工程管理	工程管理の考え方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。	004
管理手法	サービス業におけるIE活用	サービス現場におけるIEに関する管理についての知識と技能を習得する。	005
原価管理	原価管理とコストダウン	原価管理をコストと生産性の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを得る。	006
製品出荷・在庫管理	在庫管理システムの導入	在庫管理制度を維持する方法や他の管理システムの計画情報との連動について習得する。	007
購買・原材料在庫管理・払出	購買・仕入れのコスト削減	購買・仕入れ活動におけるコスト削減に必要な知識、技能を習得する。	008
	POSシステムの活用技術	POSシステムのメリットを理解し、販売戦略に活用できる知識、技能を習得する。	009
品質保証・管理手法	品質管理基本	品質管理の考え方を理解し、QC7つ道具を使って課題への対処ができる知識と技能を習得する。	010
	品質管理実践	不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能を習得する。	011
	サービスマネジメントによる品質改善と向上	サービス品質の改善や向上に向けた具体的な行動に移すための手法を習得する。	053
流通・物流	3PLとSCM	3PLとSCMとの関連についての知識と技能を習得する。	015
	物流のIT化	流通物流ネットワークの構築について提案することができる知識と技能を習得する。	016
	流通システム設計	流通システム設計を進めるための知識と技能を習得する。	013
	物流システム設計	物流の生産性向上とコスト管理を理解し、物流システムの設計に関する知識、技能を習得する。	014
	卸売業・サービス業の販売戦略	卸売業・サービス業の販売戦略を構築できる知識及び技能を習得する。	012
クラウド・IoT導入	SCMの現状と将来展望	サプライチェーン・マネジメント経営手法についての知識と技能を習得する。	017
	クラウド活用入門	クラウドを活用した業務展開の企画提案の知識と技能を習得する。	018
	IoT活用によるビジネス展開	IoTに関する基本的な知識、技能、技術を理解し、IoTを活用したビジネス展開手法を習得する。	019
	クラウドを活用したシステム導入	クラウドを活用したシステム導入に係る知識を習得する。	020
	IoT導入に係る情報セキュリティ	IoT導入の有用性及び情報セキュリティに関するリスク等の必要な対策についての知識及び技術を習得する。	021
IT活用	クラウドを活用した情報共有能力の拡充	クラウドを活用した自社業務における情報共有の課題解決に繋げるための能力を習得する。	054
	RPAを活用した業務効率化・コスト削減	RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得する。	055
財務管理	ITツールを活用した業務改善	ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。	056
	企業価値を上げるための財務管理	財務の概念と財務諸表の構造を知り、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。	037

目的:横断的課題			モデル番号
経営戦略	IoTを活用したビジネスモデル	IoTとビッグデータ活用を理解し、IoTビジネスを具体的に検討するためのポイントを得る。	022
	事故をなくす安全衛生活動	職場の安全衛生の改善をめざして、リスクを低減するための点検手法について知識を習得する。	038
リスクマネジメント	個人情報保護と情報管理	個人情報保護法について理解し、セキュリティ技術に関する知識、技能を習得する。	023
	リスクマネジメントによる損失防止対策	リスクマネジメントに関する考え方や方法を理解することで、不確定要素の軽減及び排除を目指す。	039
	災害時のリスク管理と事業継続計画	事業への被害を最小限に抑えるためのリスク管理と事業継続計画に関する知識を習得する。	059
	eビジネスにおけるリーガルリスク	eビジネス活動に関する法律等を理解し、リーガルリスクの察知及びリスク対応ができる知識を習得する。	040
ナレッジマネジメント	ネット炎上時のトラブル対応	ネット炎上時のトラブルに対応するための知識について習得する。	057
	ナレッジマネジメントの重要性を理解し、ナレッジを収集、活用できる知識、技能を習得する。		024
	知的財産権トラブルへの対応(1)	知的財産権(著作権、特許等)を理解し、トラブルの可能性を察知、対処できる知識、技能を習得する。	025
組織力強化	知的財産権トラブルへの対応(2)	知的財産権(意匠法、商標法等)を理解し、トラブルの可能性を察知、対処できる知識、技能を習得する。	026
	現場社員のための組織行動力向上	社内問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。	058
	業務効率向上のための時間管理	業務の効率化・スピード化を促進できる仕組みづくりを行うための知識を習得する。	041
	顧客満足度向上のための組織マネジメント	様々な立場のメンバーが協力・支援していくための関係構築とマネジメントを進めるためのスキルを習得する。	062
	企画力向上のための論理的思考法	企画力向上のための論理的思考法の活用方法を習得する。	060
	成果を上げる業務改善	業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。	042
	組織力強化のための管理	組織目標の達成に向けた強い組織の構築手法を習得する。	043
	職場のリーダーに求められる統率力の向上	職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。	061
	管理者としての必要となる問題解決力向上	管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。	051
	プロジェクト管理技法の向上	仕事の段取り力を高めるとともに、的確な業務指示を行うための手法を習得する。	044
プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理	プロジェクトマネージャとしての知識と技術を習得する。	052	

目的:売上げ増加			モデル番号
顧客拡大	提案型営業手法	営業側から能動的(自発的)な提案ができる営業手法を習得する。	049
	ビジネス現場における交渉力	現場の第一線で活躍が期待される社員が持つべき交渉スキルを習得する。	063
	提案型営業実践	顧客の立場に合わせた提案書作成から顧客への提案実施、説明ができる能力を習得する。	050
顧客情報	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	マーケティング志向の営業活動について、分析し、改善策の検討方法などを習得する。	027
	統計的データの解析とコンセプトメイキング	統計的データの解析法と活用方法、コンセプトメイキングの方法を理解し、営業企画書作成方法を習得する。	028
概論	顧客分析手法	データマイニング手法の活用方法を理解し、ITを活用した営業、マーケティングのための予測方法を習得する。	029
	顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析	顧客満足度の把握とデータ分析とその活用方法についての知識と技能を習得する。	045
顧客拡大	実務に基づくマーケティング入門	企業全体で顧客を満足させるマーケティング手法を習得する。	030
	マーケティング戦略概論	マーケティング戦略の概要を習得する。	031
サービス・商品開発	マーケット情報とマーケティング計画(調査編)	マーケティングコミュニケーション、市場・商圈調査等を理解し、市場調査等の計画策定方法を習得する。	032
	マーケット情報とマーケティング計画(販売編)	市場調査等の結果に基づく、販売予測と販売政策の立案手法を習得する。	033
	インターネットマーケティングの活用	インターネットマーケティングの概要を理解し、顧客獲得のための施策を検討できる知識を習得する。	046
販売促進	製品・市場戦略	製品計画、製品戦略及び市場戦略の概要について理解し、製品戦略の立案方法について習得する。	034
	新サービス・商品開発の基本プロセス	アイデアの出し方及び自社資産の活用方法を理解し、サービス、商品づくりの基本プロセスを習得する。	035
販売促進	プロモーションとチャネル戦略	販売チャネル、プロモーション戦略の策定方法について習得する。	036
	チャンスをつかむインターネットビジネス	インターネットを活用したビジネスチャンスの拡大を検討できる知識を習得する。	047

※訓練コースは、随時追加される予定です。

INFORMATION!

指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員(テクノインストラクター)を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備(実習場や訓練用機器等)の貸出しを行っています。



人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは生産性センターにお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。



(厚生労働省HPへ)

※ お気軽にお問い合わせください。 ※